

SaaS アナリティクス：安全で信頼性の高いレポート作成

Cognos Analytics が優れた SaaS を提供する理由



世界中の企業が、Cognos Analytics を使用してデータからより正確な知見を生み出し、組織全体で発生する質問に協力して答えています。

企業によっては、自分たちがクラウドに容易に移行して SaaS (Software-as-a-Service) を活用できるということを認識していない可能性があります。それらの企業も、自社で構築したシステムをシームレスにクラウドに移行でき、しかも Cognos Analytics on Cloud によって自社独自のスケジュールで移行を進めることが可能です。

Cognos Analytics on Cloud は、柔軟性の高い豊富な機能を実現します。アクセスを簡単にし、多くの異なる

機能レベルの選択肢を管理者やユーザーに提供することができます。また、企業は、オンプレミスとクラウドのどちらに格納されている既存データに対しても、より迅速かつ安全にセルフサービスでアクセスできます。

このエンドツーエンド・ソリューションは、ソフトウェアからセキュリティーまで、データのバックアップからアップグレードまで、IBM* によって完全に導入および管理されます。どの段階でも、Cognos やセキュリティー、クラウドの重要なプロセスを請け負った見えないサードパーティーのサイトやサービスを使うことはありません。クラウドから、美しいダッシュボードやレポートを想像以上に簡単かつ安全に作成できます。

一部の企業は、クラウド・ソリューションはオンプレミス・ソリューションよりも安全性が低いと考えています。しかし、IBM はこれまでに 10,000 件を超えるクラウド・クライアントの契約実績があるため、そのような企業でも心配する必要はありません。Cognos Analytics on Cloud は、業務に必要なプライバシー、セキュリティ、および予算の柔軟性を提供し、物理的な要件、ネットワークや Web セキュリティーの要件を十分あるいはそれ以上に満たします。Cognos Analytics on Cloud は、データの格納場所にかかわらず、保存時も送信時も、企業が迅速かつ安全にデータにアクセスできる環境を提供します。

各 IBM データ・センター* は、物理的な侵入への対策が講じられ、サーバー・ルームへの入室は許可された従業員に制限されています。データ・センターの内外を問わず、すべてのコントロールはサードパーティーによる監査が実施されます。顧客のセキュリティ認証のため、詳細な監査およびコンプライアンスのレポートが提供されます。最も機密性が高く、統制されたビジネス・アナリティクスのワークロードでは、IBM が提供する優れた保護が必要です。

IBM Security は、最新の「2016 Gartner Magic Quadrant for Identity Governance and Administration」で再度リーダーの地位を獲得しています。

導入事例：

多国籍企業が IBM のハイレベルのセキュリティーを評価

ある多国籍企業にとっては、簡潔であることがすべてでした。この企業は、Cognos の価値を理解していましたが、セキュリティーを損なわずにクラウドの経済性を手に入れたいと考えていました。IBM Cognos Analytics on Cloud により、この企業の CIO は、ビジネス・ユーザーに Cognos の簡潔さを提供しながら重要な HR データをオンプレミスに保存し続けることができました。



他のデータ・ディスカバリー・ベンダーが「リフトとシフト」により既存データをクラウドに移行する（または最新状態に保つため絶えずデータをクラウドにコピーする）一方で、Cognos Analytics on Cloud はハイブリッドのデータ・プランを可能にします。データは、既存のオンプレミス・データベース資産に格納することも、会社が必要とする場所や希望する場所に移動することもできます。ビジネス・リーダーは、より多くのクラウド上の専門知識にアクセスしたり、その他のクラウド・サービスを活用したり、予算についてより迅速に対応したりできます。

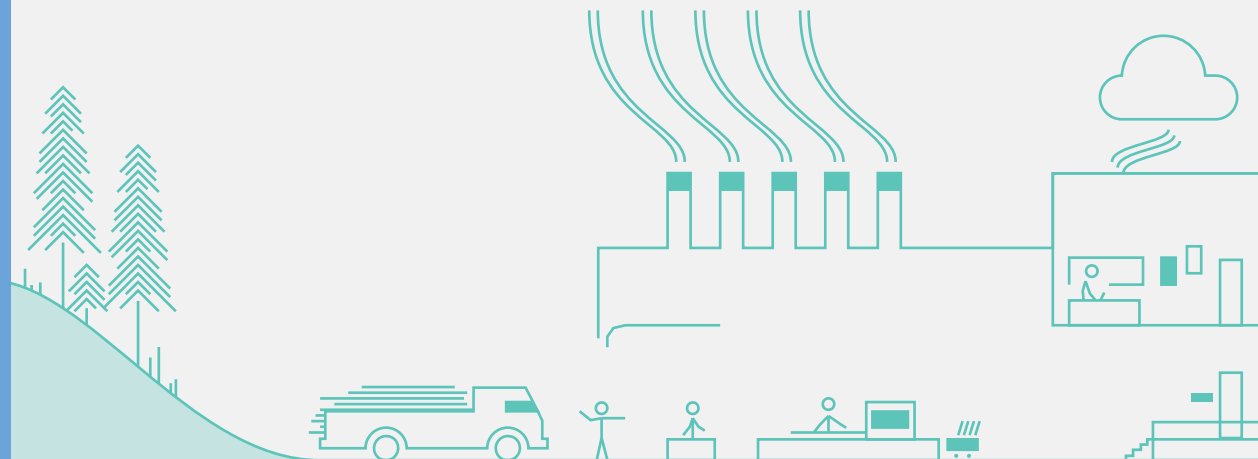
コグニティブ・コンピューティングや地理空間情報のマッピングなど最先端の技術を活用したい IT リーダーは、Cognos Analytics on Cloud でより迅速にソリューションを配布したりアップグレードしたりできるようになりました。展開、調整、Fix Pack（修正パッケージ）、アップグレードなどにリソースや時間を割く必要はなくなります。

遅延も孤立したユーザーもデータのダウンロードもなくなるはずで、ユーザーは、自動的にクラウドに適合した、最も正確なデータ、最新のソフトウェア・アップデートをいつでも利用できます。

導入事例： メーカーがクラウドへの橋渡しを活用

製紙業のある主要メーカーは、Business-Intelligence-as-a-Service への完全移行を目指して、Cognos Analytics をオンプレミスとクラウドで同時に 12 カ月使用しています。これにより、このメーカーは、適切なコストで、拡張性のある IBM 管理の環境にユーザーとレポートを移行する時間を十分に確保できます。

CIO と IT 統括責任者はクラウドについて懐疑的で、データをクラウドに移行し、継続的にコピー処理を行う必要があると信じていました。しかしながら、Cognos Analytics on Cloud が、格納場所に関係なくデータにアクセスできるよう設計されていることを知ると、データをオンプレミスの DB2 ウェアハウスに格納したままにできることに気づきました。



Cognos Analytics on Cloud のアーキテクチャーは、綿密な移行プロセスと連携することで、SaaS への移行を容易にします。企業はオンプレミスからクラウドにシームレスに、かつ自社の予定に合わせて移行することができます。

ユーザーの都合に合わせた移行

Cognos Analytics のハードウェア、ソフトウェア*、サポートの権利と責任を IBM に譲渡すると、稼働時間の保証、より柔軟なライセンス契約、および世界中の4万人のクラウド専門家（アプリケーションのインストール/サポートの管理、ランタイム、ミドルウェア、O/S、仮想化、サーバー・ストレージ、およびネットワーク構築）をさまざまな選択肢から選ぶことができます。

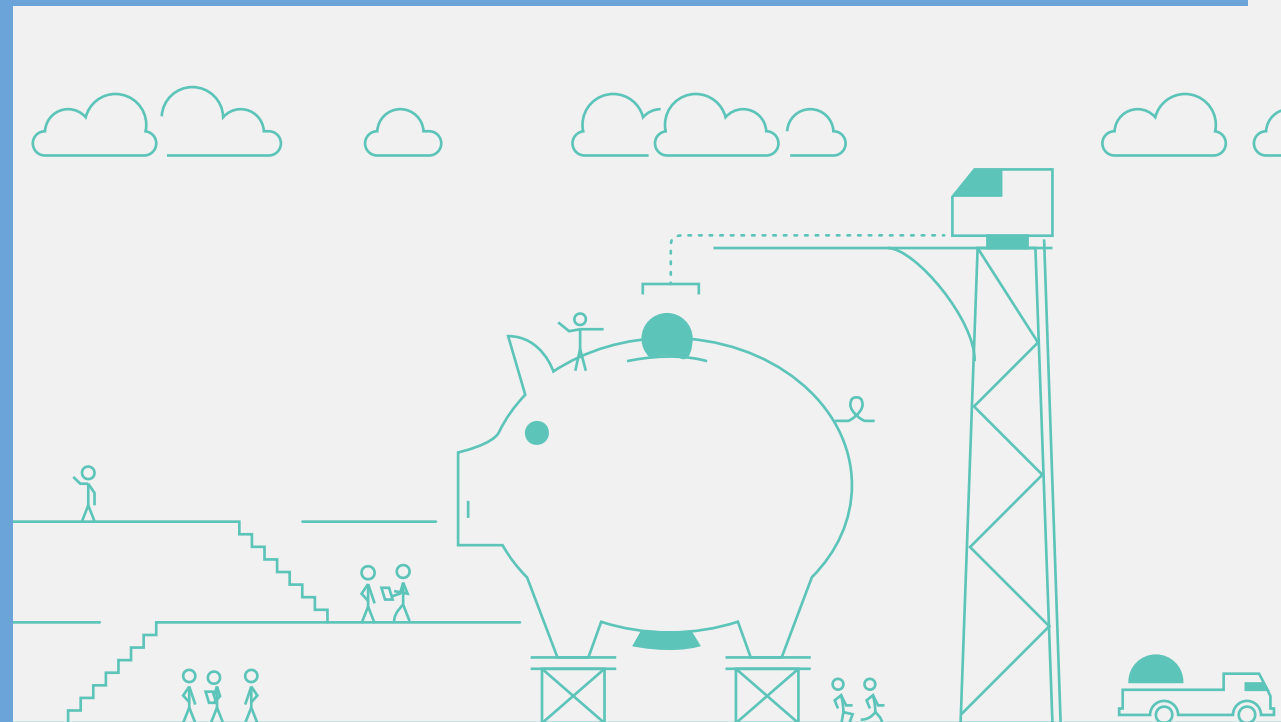
パッチのすべてのバージョンのアップグレードおよびインストールは IBM が対応します。そのため、アップデートは「数カ月から数年」ではなく「数日から数週間」前後でスケジュールに沿って適時行われます。

Cognos Analytics on Cloud は、保守管理に費やすリソースや時間を省くことができます。代わりに IT を、組織に価値と節約をもたらす戦略的なタスクに集中させることが可能になります。

導入事例：

メーカーと IBM が協力してクラウド上の BI をコントロール

IBM と大手メーカーは協力して Cognos Analytics on Cloud を導入し、コスト削減と、完全に管理されたインフラの削減に成功しました。また IBM チームは、効率性の向上やコストの削減にも貢献しました。





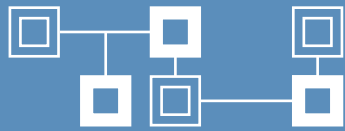
管理：

IBM SoftLayer のセキュリティー管理手法は、米国政府標準に従い、NIST 800-53 フレームワークをベースとしています。



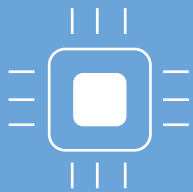
物理：

IBM SoftLayer は、包括的な物理セキュリティーを提供し、データ・センターおよび企業のワークロードを保護します。



ネットワーク：

IBM SoftLayer のネットワーク構造は、すべてのワークロードの基礎として、ネットワークレベルのセキュリティーを組み込んでいます。



ハードウェア：

IBM SoftLayer は、包括的なツールを提供することで、ワークロード・レベルで、サーバーレベルのセキュリティーを設計し、展開するお手伝いをします。



認証：

- EU 標準契約条項への同意
- ISO 27000 コンプライアンス